「家がいいね」第２１６号

いせ在宅医療クリニック　広報月刊紙

2022.5.1

まど　みちお　さんからの贈り物

二つの詩。世界を支えるのは動かずに待つ植物。いのちは、空気のように胸から胸へ動く。それも青葉の吐く空気のおかげ。５月に寄せる詩です。

ぼくの　胸の中に
いま　入ってきたのは
いままで　ママの胸の中にいた空気
そしてぼくが　いま吐いた空気は
もう　パパの胸の中に　入っていく

同じ家に　住んでおれば
いや　同じ国に住んでおれば
いやいや　同じ地球に住んでおれば
いつかは
同じ空気が　入れかわるのだ
ありとあらゆる　生き物の胸の中を

きのう　庭のアリの胸の中にいた空気が
いま　妹の胸の中に　入っていく
空気はびっくりぎょうてんしているか？
なんの　同じ空気が　ついこの間は
南氷洋の
クジラの胸の中に　いたのだ

５月
ぼくの心が　いま
すきとおりそうに　清々しいのは
見わたす青葉たちの　吐く空気が
ぼくらに入り
ぼくらを内側から
緑にそめあげてくれているのだ

一つの体を　めぐる
血の　せせらぎのように
胸から　胸へ
一つの地球をめぐる　空気のせせらぎ！
それは　うたっているのか
忘れないで　忘れないで…と
すべての生き物が兄弟であることを！

『空気』　まど　みちお

よかったなあ

よかったなあ　草や木が
ぼくらの　まわりに　いてくれて
目のさめる　みどりの葉っぱ
美しいものの代表　花
かぐわしい　実

よかったなあ　草や木が
何おく　何ちょう
もっと　数かぎりなく　いてくれて
どの　ひとつひとつも
みんな　めいめいに　違っていてくれて

よかったなあ　草や木が
どんなところにも　いてくれて
鳥や　けものや　虫や　人
何が　訪ねるのをでも
そこで　動かないで　待っていてくれて

ああ　よかったなあ　草や木がいつも
雨に洗われ
風にみがかれ
太陽にかがやいて　きらきらと

『よかったなあ』　まど　みちお

初心を思い出し、２０周年の先へ

２００２年４月１５日、そっと入り口を開けました。外来も一人在宅も一人と、その思いを聴いて進めてきたつもりでした。それでも慢心があると分かりました。

思わぬ病（やまい）を得た直後から、相談は始まります。診断や治療の速い流れに抗しながら、患者さんやご家族が思いを通すために、私たちはより温かい聴き取りを心掛けてゆきます。

表題のように「家がいいのに」と率直に言葉にして頂けるよう、相談や支援を見直しています。

いせ在宅医療クリニック
ise home care clinic

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御薗町高向 927
電話　0596-20-8104
ファクス　0596-20-8105
メール　homecare@kr.tcp-ip.or.jp
http://isezaitaku.com

→バックナンバ閲覧可